



安田瓦

YASUDAKAWARA

安田瓦協同組合

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田7372番地

Tel 0250-68-2112 Fax 0250-68-2116

Web <http://www.yasuda-kawara.jp/>

Mai yasudakawara@alpha.ocn.ne.jp

つよく、かわらず、うつくしく

つよく、かわらず、うつくしく



安田瓦
YASUDAKAWARA

しよく

それは、住まいを守る屋根に一番大切なこと。

安田瓦は、雪深い新潟県阿賀野市

(旧安田町)で生まれ、

豪雪から暮らしを守るために、高い強度を備えた瓦です。

つよさは、やさしさの証。大きな安心を約束します。

大雪でも安心

安田瓦は曲げ試験でJIS規格を遥かに上回る1枚あたりの曲げ破壊荷重250~300kgfを記録しています。大雪の時でも屋根と住まいをしっかりと支える頼もしい瓦です。

※JIS規格 153kgf以上

雨を寄せ付けない

水に強いことも安田瓦の特長です。吸水実験ではJIS規格を上回る3~5%以下を記録。瓦の両面に施釉することで裏面からの湿気の侵入を防ぎ、抜群の耐水性を誇ります。

※JIS規格 12%以下

凍結に負けない

気温が氷点下以下になると発生する瓦の凍結被害。安田瓦は-50℃の冷凍状態から15~20℃の水に浸す凍結融解実験を繰り返してもびくともしない、凍結に強い瓦です。

強い瓦葺きの技

瓦産地の北限、阿賀野市(旧安田町)では、瓦づくりと瓦葺き職人が深く連携。安田瓦の特長を知り尽くし、震度7に耐えるガイドライン工法に則った施工で、強い屋根を実現しています。





かわらず

屋根は暮らしを支える大切なものです。気候の変化や自然災害などに備える日常はもちろん、維持補修など、経済的な負担も考えなければなりません。安田瓦は、いつもの生活をかわらず守る安心感があります。

静かな安心

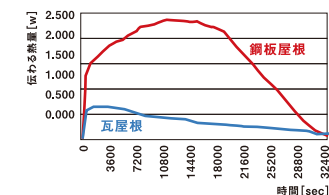
安田瓦は鋼板屋根に比べ、音をほとんど発生させません。雨音、風の音、騒音などから生活空間を守り、暮らしに静かな安心を実現します。

室内の騒音レベル比較

屋根瓦	55.1~59.6 dB
鋼板屋根	71.2~75.3 dB

断熱で快適を約束

断熱性能を重視する現代の住まいづくりに安田瓦はお役に立ちます。他の屋根材に比べ優れた熱貫流率で、夏も冬も外気の影響から生活空間を守り快適を約束します。



空気をいかす

気温や湿度の変化から住まいと暮らしを守る。安田瓦の施工方法は、瓦と野地板(屋根の下地材)の間に空気層を作ります。その空気層が屋内の温度調節に効果を発揮し、エコな生活に繋がります。

火事から守る

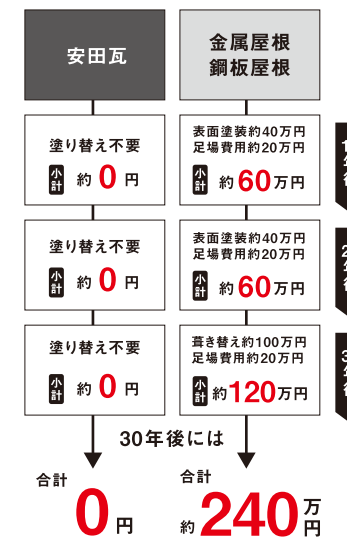
およそ1200℃の高温で時間をかけて焼成された安田瓦は、焼き締め効果が強く、火の粉が飛んできても燃え移ることはありません。

百年という経済性

安田瓦は焼き物です。耐久性に優れ寿命は50~100年と言われています。万一の時でも1枚から補修ができるので負担はわずかです。家計を圧迫しない経済性も大きな魅力です。

メンテナンス費用の比較

※安田瓦協同組合調べ





提供：オーガニックスタジオ新潟

うつくしく

安田瓦は、独特な鉄色をした瓦です。
鉄分を多く含む安田の土と釉薬が調和し、
高温焼成と還元焼成により
重厚感のある色合いになります。
そのうつくしさが住まいの風格を引き上げてくれます。



安田瓦は鉄色瓦

安田の土に多く含まれる鉄分と釉薬との出会い。さらに、瓦の強度を高める還元焼成により、天然釉薬が表面で変化し、いぶし銀のような独特の鉄色になります。

選べる安田瓦

鉄色で広く知られる安田瓦ですが、住まいの多様化に合わせて、性能はそのままに色のバリエーションを追加しました。鉄色、赤茶系、素焼、住まいに合わせてお選びいただけます。

日本の生活文化を語る瓦

瓦のルーツはインドなどの大陸という説もあり、欧州などでも瓦は多く使われています。安田瓦は、日本の生活に溶け込み、日本の文化を物語る役割を果たしています。

スタンダードカラー

鉄色



赤茶系



素焼



※光の反射角度により、印刷と実物は色が異なって見える場合があります。実物のサンプルなどでお確かめ下さい。



鶴ヶ城



安田瓦の足跡

旧弘前偕行社

進化し続ける安田瓦

現在、瓦産地の北限と言われる安田瓦。
その発端は、今から遡ること二百年近く前の天保年間です。
長い年月を重ねる度に磨かれ、価値を高めてきた安田瓦。
進化し続けることで歴史を刻んできました。

越前から伝わった瓦づくり

安田瓦のはじまりはおよそ天保年間（1830～）からと伝えられています。
越前敦賀（現福井県）の渡り職人の千野半造が、北越漫遊の際に訪れた
安田の土に惚れ込み、地元の碓屋長左工門に瓦づくりを伝授しました。
その後、本格的に生産されたのは天保14年（1843）からと言われています。

軍需を機に広まる安田瓦

明治以降、国内各地の師団増設や兵舎の
増改築が高まり、弘前、旭川師団や新発田
兵営の屋根工事など、大量の注文を機に
安田瓦は広く知られ、産業として発展しました。

丈夫さと美しさで名所に採用

丈夫で美しい鉄色の瓦は、神社・仏閣の
屋根を飾るにふさわしく、多くの名刹をはじ
め名所に用いられてきました。国の史跡に
指定されている会津若松鶴ヶ城や重要文
化財の旧弘前偕行社など由緒ある建物の
屋根を彩っています。



近代化が進む瓦の現場

家内工場の手作りから機械化が進み、
現在は最新鋭の設備を配備。トンネル窯
の自動化・生産工程の省力化により、
品質の向上と合理化がさらに進んでいます。



土を操る

受け継がれ続けてきた瓦づくりの技と知恵。
原材料となる土と向き合うことも大切なことでした。
練って、成形して、乾燥、そして焼成。
土の癖を見抜き操ることが、安田瓦の品質を高めています。

土の癖を見極める

原料の土を見極めること。土は乾燥と焼成の各段階で捻れと収縮が起こります。原土の特性を見極め気温や湿度の状況に合わせた水分量に調節することで、瓦に最適で均一な製品とする知恵が安田瓦には息づいています。

捻れをつくる

屋根の形状に合わせて、瓦にあえて捻れや湾曲をつくりだしていく技。美しい瓦の姿と強度はそのままに形状を自在に操る技術が、数値化できない微妙な違いを埋め、美しい日本の屋根をつくりだしているのです。

火を司る

安田瓦の価値を高めているのは焼成の技術です。

窯の火の強さを調整し、

絶妙な温度と時間を与えることで

強さはもちろん、独特の鉄色の美しさが生まれ、

高品質な住まいの屋根を提供しています。



長さ100mの焼成窯

安田瓦の焼成窯は、全長およそ100m。長い窯の中で時間をかけてじっくりと焼成されています。



二段階焼成の安田瓦

安田瓦は、高温酸化焼成と還元焼成という二段階の焼成によってつくられています。二段階の焼成によって、瓦は焼き締められ、抜群の強度と比類なき美しさを身につけ、安心と誇りが息づく自慢の屋根になるのです。

1200℃の高温焼成

最初の焼成は、高温酸化焼成です。この段階では、窯内の酸素量を調整しながら火力を最大化していきます。その温度は、他産地の瓦と比較しても高温で、およそ1200℃。高温焼成によって焼き固められます。



ゆっくり還元焼成

安田瓦は、酸化焼成から還元焼成の二段階で概ね30時間をかけてゆっくり焼成されます。還元焼成では、窯の内部を無酸素状態で焼成を続けます。窯の中に酸素がないと瓦は自体の土に含まれる酸素を使おうとするので、瓦の中の酸素が抜け、一層強固な瓦に焼き締められます。

つよく、かわらず、うつくしく



安田瓦

YASUDAKAWARA

安田瓦は、堅牢さと美しさを備え、日本の屋根を守り続けてきました。変わりゆく時代の中で日本の景色に、葺の波がこれからもずっと続くように。そして、我が家を見上げた時に満足感が湧くように。そのために、私たちは自らの存在と価値観を広く発信するために、安田瓦のシンボルマークを作成しました。家の屋根を見上げた時に目につく軒瓦をモチーフに、暮らしを守る信頼感とやさしさを瓦の流麗な曲線に重ねて表現しています。

ライフスタイルの変化に対応し、和風建築の美だけでなく、洋風の住まいにも似合う瓦として、これからも暮らしとの架け橋になっていきたい。不易流行の気構えで、瓦の真価をさらに磨き、新たな価値への挑戦を続けます。暮らしに密着した安心と信頼の安田瓦ブランドにご期待ください。

安田瓦ブランドシンボルマークに込めた思い

安田瓦が人と暮らしをつなぐ架け橋になり、これからも瓦が屋根に上がっている景色を広めていきたいという思いを込めました。一番先に目につく軒部分の瓦をモチーフにし、空を見上げた時に目に入る瓦の風景をシンボルマークとしてデザインしています。



安田瓦を 知る・学ぶ・楽しむ やすだ瓦ロード

安田瓦を散策できる「やすだ瓦ロード」は、年々多くの方々に愛され、進化を続けています。地域産業である安田瓦を「知る・学ぶ・楽しむ」エリアです。

「やきもの広場」では、新たに高さ3.5メートルという迫力満点の鬼瓦のモニュメント、壁や床が瓦で装飾されたトイレ、休憩できる東屋などが加わり、瓦の多彩さが感じられます。

瓦ロード内には、安田瓦を使ったモニュメントや沿道装飾があり、散歩するだけで安田瓦の魅力にふれることができます。瓦を使った天狗や座敷わらしの像や、瓦を使った埋め込み装飾がされた「鬼瓦さんぼ道」など楽しい時間を過ごせます。

瓦ロード周辺には、安田瓦を製作する「丸三安田瓦工業」や「五十嵐瓦工業」、巨大鬼瓦を手掛けた「長場鬼瓦工場」や入口にある猫のモニュメントが印象的な「村秀鬼瓦工房」などこの地域の土の魅力を活かした工場・工房があり、予約で工場見学や体験も楽しめます。